

情報公開文書書式

研究課題名	訪問リハビリテーション利用者における栄養状態の実態と、利用開始6ヶ月後の日常生活動作との関連
所属部署	訪問リハビリテーション銀屋
研究責任者(職名)	木須達哉
研究期間	承認日 ～ 2024年 3月 31日
研究目的と意義	病院に入院されている高齢者は、栄養障害のある方が多いです。栄養障害になると日常生活動作が低下したり、入院後の自宅復帰率が下がることがわかっています。しかし、訪問リハビリテーション利用者における栄養状態の実態や日常生活動作との関連はわかってません。この研究にて栄養障害が訪問リハビリテーションの効果にどの程度影響するか明らかとなれば、訪問リハビリテーションにける栄養状態の評価の重要性を確立することに繋がると考えられます。
研究内容	●対象となる患者さま 令和1年10月1日から令和4年3月30日に訪問リハビリテーション銀屋の利用を開始した利用者様
	●利用する情報 例) 年齢、性別、病型、合併症、要介護度、栄養状態(MNA®-Short Form)、日常生活動作(ADL)など ※本研究で利用する情報について詳細をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。
	●研究方法 上記情報は電子カルテより収集し、訪問リハビリテーション利用者の栄養状態の実態と、訪問リハビリテーション利用開始6ヶ月後の日常生活動作と栄養状態の関連について解析します。情報収集時には個人が特定できないように匿名化します。
問い合わせ先	所属：一般社団法人是真会 臨床研究開発部(PACS) 西岡・高橋 住所：長崎市銀屋町4-11 電話：095 (818) 2002 受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)